文化と産業 活力創出へ

兵庫県尼崎市は21世紀に飛躍する尼崎の都市像を「にぎわい・創生・あまがさき」と定めている。人が集い交流する「にぎわい」が文化と産業の活力を生み出し、地域活性化につながるとして、それを「行ってみたいまち」「住んでみたいまち」「住みつづけたいまち」の3つの視点からまとめ、まちづくりの方向性を描いている。

尼崎市

2010年12月に就任した稲村和美市長は所信表明で「『コンパクトで持続可能なまち』『信頼と分かち合いのまち』『市民自治のまち』の3つの柱にまちづくりを進める」と強調。持続可能なまちづくりをデザインし、産業の共生や市民が安心できる住み続けたいまち、訪れたいまちとすることを目標に掲げた。

経済と環境の両立においては無料省エネ診断や省エネ設備導入補助支援、尼崎市独自の環境マネジメントシステムを導入。11年度は市内で製造する環境負荷低減に配慮した製品を発掘、表彰する「第1回あまがさきエコプロダクツグランプリ」の創設や「尼崎環境マップ」作成などを実施している。また、10年に尼崎商工会議所などの産業団体と連携。既存の自動車部品を活用した改造電気自動車（EV）の開発やEVの充電スタンドの設置・普及を図る。さらにECO未来都市の象徴的な地域である「尼崎21世紀の森構想」の中央緑地の活用に向け兵庫県に「EV試乗・テストコース」の設置を要望するなど、具体的なプロジェクトの実施や計画を予定している。

太陽光発電の普及促進においては、太陽光発電設備の先導的設置モデルエリアの検討や普及に向けた支援策、公共や商業施設への発電設備の設置促進、さらに太陽光発電パネルのメンテナンスロボットの共同開発なども計画。

これらプロジェクトの実現に向けて行政と各団体が役割分担および連携を図り、参画企業の発掘とプロジェクトリーダーや指導的人材の選定、資金確保などプロデューサーやコーディネーター役を果たしていく。

こうして市内企業の環境技術製品の付加価値を向上させたり環境美化運動などによる地域社会における環境への理解と関心を高めたりして持続的な成長・発展可能な「環境の活きづくまち」を目指すと同時に「行ってみたいまち」「住んでみたいまち」「住みつづけたいまち」に向けた尼崎のまちづくりを進める。

市が共同宣言した「ECO未来都市・尼崎」は、独自性あふれる新しいモノづくりを生み出し尼崎の産業をさらに成長・発展させるもの。〝環境に配慮したクリーンな街〟をキーワードに産業と環境が共生する「ものづくりのまち尼崎」をつくりあげていく。

行政と各団体が市内企業と連携。既存の自動車部品を活用した改造電気自動車（EV）の開発やEVの充電スタンドの設置・普及を図る。さらにECO未来都市の象徴的な地域である「尼崎21世紀の森構想」の中央緑地の活用に向け兵庫県に「EV試乗・テストコース」の設置を要望するなど、具体的なプロジェクトの実施や計画を予定している。

太陽光発電の普及促進においては、太陽光発電設備の先導的設置モデルエリアの検討や普及に向けた支援策、公共や商業施設への発電設備の設置促進、さらに太陽光発電パネルのメンテナンスロボットの共同開発なども計画。

これらプロジェクトの実現に向けて行政と各団体が役割分担および連携を図り、参画企業の発掘とプロジェクトリーダーや指導的人材の選定、資金確保などプロデューサーやコーディネーター役を果たしていく。

こうして市内企業の環境技術製品の付加価値を向上させたり環境美化運動などによる地域社会における環境への理解と関心を高めたりして持続的な成長・発展可能な「環境の活きづくまち」を目指すと同時に「行ってみたいまち」「住んでみたいまち」「住みつづけたいまち」に向けた尼崎のまちづくりを進める。

尼崎商工会議所　創設100周年機にビジョン

尼崎商工会議所は2011年に創設100周年を迎えた。尼崎市は阪神工業地帯の中核を担う工業都市として長年にわたり日本の産業の発展を支え、会議所も一体で重要な役割を果たしてきた。100周年を節目に再び原点に立ち返り、残すべきものを残しながらも変えるべきものは変えていく考えだ。また「産業都市・尼崎」の姿を環境など6つのキーワードに基づき「中期ビジョン」を策定。「企業と人が活きづく街は美しい」というブランドメッセージを発信し、次の100年に向け歩んでいく。

尼崎商工会議所の前身の尼崎工業者共和会が呱々の声をあげたのは日本初の飛行場が埼玉県所沢に開設した年と同じ1911年（明44）の秋。事務所を尼崎町役場の一隅に置き発足した。尼崎紡績など紡績産業とともに尼崎の産業時代の幕が開け、旭硝子を始め住友金属工業の前身の住友伸銅所や日本スピンドル、関西ペイントなどの工場建設が相次いだ。1916年（大5）に尼崎商工共和会に改称。1940年（昭15）に尼崎商工会議所が設立し、高度経済成長やオイルショック、バブル、平成不況など紆余曲折に対応しながら時代を乗り越えてきた。

100周年を迎える最近の10年は、2002年の「尼崎市21世紀の森構想」計画の策定や「環境ビジネス研究会」の立ち上げなど〝環境〟をキーワードとした活動に力を入れてきた。

10年には尼崎経営者協会など他の産業団体と共同で「ECO未来都市・尼崎」宣言を発表。先駆的な環境・エネルギー技術を活用・導入し、電気自動車、太陽光発電の普及促進を核とした尼崎発の新たなビジネスモデルの創出やスマートシティー実証地域の指定など高い目標設定を掲げている。

そして尼崎商工会議所では100周年を機に、産業都市の魅力向上が企業と地域住民の共通の利益につながるとの認識のもと、「中期ビジョン」を策定した。また「企業と人が活きづく街は、美しい」というブランドメッセージを掲げた。その活動の一環として産業観光の取り組みを進め、さらに発展させることで尼崎を仕事や職場体験のできる「見て、学び、体験する」街にしていく考えだ。

こうした街づくりの実現には情報の共有化が一番重要として、各情報をより正確にタイムリーに発信し、情報を共有化することで企業同士の連携を活発化。尼崎の産業発展につなげていく。その連携を確実に成果につなげるためにも、多くの情報を持つ商工会議所が企業の橋渡し役で終わるのではなく、自ら新しい事業のプロデューサーを務めることがこれからの商工会議所に必要な役割としている。

吉田修会頭は「創立当時は誰もが尼崎のために情熱を持ち仕事に取り組んできた。その時代のように街でみんなと一緒に汗を流し、ともに発展に貢献したい。この100周年はその情熱を呼び覚ます良い節目になる」と決意を新たにする。

国道2号線沿いの旧会館

メッセージ

尼崎商工会議所　吉田 修会頭

企業の交流・連携 促進

昨年11月、尼崎市長並びに地元産業団体の各代表者が、産業と環境が共生する未来志向のまちを目指すことに合意し、「ECO未来都市・尼崎」宣言を行いました。同宣言に沿った独創的な新しいものづくりの形態や仕組みを創出するなど、企業の「交流」と「連携」を促進し、産業の活性化に努めております。

尼崎商工会議所は本年創立100周年を迎え、「企業と人が活（いき）づく街は美しい」というブランドメッセージを策定しました。人々が汗して働く姿や仕事を達成した時の笑顔こそが街の活力の源泉であるとの思いを込めております。創立100周年を記念して、10月20日・21日の両日、都ホテルニューアルカイックで「あまがさき産業フェア」を開催します。恒例の産業フェアの第2会場として、県内企業の新製品や新技術、サービスなどを広くアピールし、取引の拡大や技術の交流を図りたいと思います。

従来の屋内展示に加え、屋外では、姫路や明石などからも出展頂き、県内のご当地グルメの販売や震災復興支援の「東北物産展」を催すと共に、尼崎の中小企業などが連携して製作に取り組んだ「改造電気自動車」の発表・試乗会を催します。交流の場を設け、産業フェアを楽しく盛り上げる企画をご用意し、多くの方々ご来場をお待ちしております。

産業振興 どう挑む？

あまちから「尼力」内外に発信

尼崎市長　稲村 和美氏

モノづくりのまち尼崎は「環境の活きづくまち」を掲げ、産業と環境の共生を目指している。尼崎にはそうした魅力を引き出す中小企業が多い。尼崎市の稲村和美市長に同市のモノづくりの技術や魅力、産業フェアの見どころ、産業振興策について聞いた。

▽◀▽

ニッポンの元気取り戻す

―あまがさき産業フェアの見どころや特色は。

「48の企業・団体の高度な技術や新製品を一堂に集め『あまがさきパワー』を広く内外にアピールし、活発な商取引や技術発展につなげ、震災で落ち込んだニッポンの元気を取り戻すのが狙いです。11年度は大阪ガスやP&Gによるオープンイノベーションとニーズ発表会を組み込んだのが特徴です。また市内環境関連企業の製品や技術を知ってもらうため『あまがさきエコプロダクツグランプリ』の受賞作品を展示します。第2会場の尼崎商工会議所100周年記念会場では尼崎版改造電気自動車の展示・試乗会なども開きます」

―尼崎産業の現状をどう見ていますか。

「リーマン・ショック以降は小規模事業所の厳しい状況が続いています。東日本大震災は尼崎でも直接間接的に全製造事業所（従業員4人以上）のうち80・1%の347社に影響を及ぼし、166社に現在もなお震災の影響が残ります。製造業の海外移転や原材料確保が懸念される中、自然エネルギーなどの環境関連の関心が高まっています。市内産業もこうした分野への展開を期待しています」

―尼崎のモノづくり企業の特徴や誇れる技術は。

「臨海部は鉄鋼など基礎素材型産業、内陸部は一般機械など加工組み立て型産業が立地。最終製品製造企業は少ないですが独自の高度技術による基礎製品や中間製品で日本のトップ企業が数多く集積しています。フェアには国内唯一の雷対策総合メーカーやバイオディーゼル燃料設備メーカーなども出展しています」

―市内中小企業に対する支援策について聞かせて下さい。

「技術力向上やノウハウ継承、高付加価値化のための新製品開発支援などを実施。新技術・新製品研究開発の助成や市内製造業の優れた技術者の表彰、事業化や商品化の円滑なサポートも支援しています。フェアも中小企業の取引拡大や技術交流を図る重要な支援の一つ。最近は製品デザインや効率的な省エネ設備導入支援など新たな視点で取り組んでいます」

―企業立地の優位性は。

「大阪ベイエリアの大規模産業集積地のほぼ中央に位置し、陸は3本の高速道路と鉄道、バスの利便性が高く、海は充実した港湾、空も大阪、関西の両国際空港へのアクセスも便利です。2012年度以降に臨海部の造成用地『フェニックス』（総面積113㌶）の分譲も始まります。国内立地しやすい環境を整えるとともに『超付加価値創生型産業』として環境・エネルギー分野に重点を置き立地促進したいと考えています」

尼崎市中小企業センターで

「あまがさき産業フェア2011」開幕20日

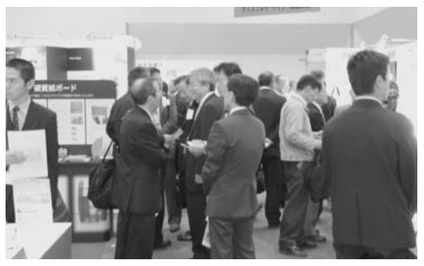
「効きます！あまがさきパワー！―ニッポンの元気は『あまがさきのものづくり』から―」。「あまがさき産業フェア2011」（主催・尼崎産業フェア実行委員会）が20、21日の両日、尼崎市中小企業センター（兵庫県尼崎市昭和通2）で開かれ、48社・団体が62小間を出展する。モノづくりを通じ蓄積した経験や知識、技術を駆使して開発した新製品や新技術を紹介し、工業都市あまがさきの未来へ羽ばたく元気企業を内外へアピールする。

28回目を迎えたあまがさき産業フェアは今回、尼崎商工会議所100周年事業と連携し、尼崎の産業団体が共同宣言した「ECO未来都市・尼崎」の趣旨とも関係づけた各種イベントを展開。プレゼンテーションや相談会、説明会、セミナーを開き各社の販路開拓を支援する。

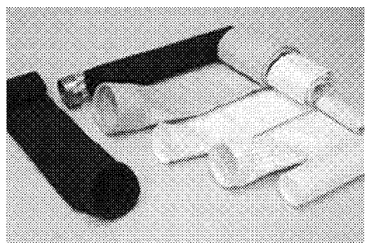
各社のプレゼンテーションや貿易相談会（日本貿易振興機構神戸貿易情報センター主催）は両日とも開催。プレゼンは初日のビルティを皮切りにロジ・コンビニエンス、丸一興業、青山金属工業、2日目の関西メディア、大喜商会、宮崎建設、ザップ、アイアールプラニングの9社が自社製品や技術、サービスをPRする。同センター内では20日に大阪ガス、21日にP&Gによるオープンイノベーションとニーズ発表会を開き、中小企業と大手企業のマッチングを支援。出展企業の製品PR動画も放映する。

「販路拡大・技術支援」では制度説明会を開き各種コーディネーターや支援機関を紹介して製品開発を援助する。また、中小企業3社による活用事例発表や尼崎ロボットテクニカルセンター・ものづくり支援センター見学、情報ツールビジネス活用講座なども行われる。

第2会場の尼崎市中小企業センター前の都ホテルニューアルカイックでは、尼崎商工会議所創立100周年記念事業「パワフルカンパニー大集合」を併催する。屋内展示では兵庫県下のグローバル企業やオンリーワン技術の中堅・中小企業ブースを設けるほか兵庫の伝統技術のワークショップを開催。ホテル前広場では東北被災地の名産品PRコーナーやマツダ・ユーノスロードスターを改造した尼崎版電気自動車のお披露目と試乗会を行う。20日にはビジネスマッチングサイト「バーチャル展示会イン尼商」を開設。会場で公開し、同サイトで自社の商品や技術、サービスを発信し、販路拡大を支援する。

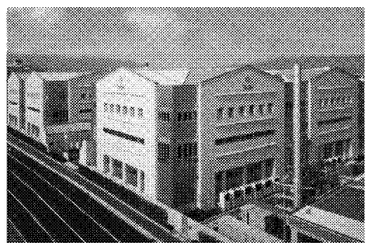

会場では例年、活発な意見交換や商談が行われる（昨年の同フェア会場）

阪神地区特集　「にぎわい・創生・あまがさき」


公害防止用集塵フィルター

地球環境にやさしい企業をめざして

私たちフジコーでは、独自の不織布およびフェルト技術を駆使して「お客様の立場」を合言葉に、全社一丸となり地球環境と人々との暮しに貢献する企業をめざして日夜、努力を積み重ねています。



不織布・フェルトの総合メーカー
株式会社フジコー
〒664-8615 兵庫県伊丹市行基町1−5 TEL. 072(772)1101(代表)
支店：東京 ／ 営業所：札幌 仙台 名古屋 福岡
http://www.fujico-jp.com

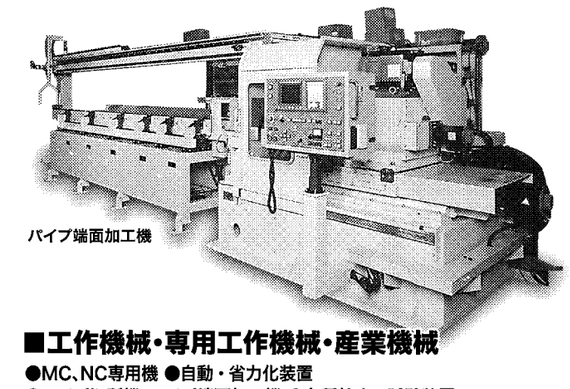
大阪産業人クラブ
お問い合わせ・ご入会申込は
http://osaka-sangyojin.jp/

総合機電エンジニアリングリース
お陰様で創業73年
リース・レンタル事業
電機設備のトータルサポート
省エネ事業　電気設備工事事業
開発・製造
菅原電機産業株式会社
本社 〒662-0934 西宮市西宮浜2丁目25 TEL.0798(33)6611 FAX.0798(33)4100
九州営業所 〒880-2231 宮崎市大字糸原2190-2 TEL.0985(36)0531 FAX.0985(41)2103
http://www.sugahara-denki.com

マイクロ波とプラズマの専門メーカー
NISSIN 株式会社ニッシン
【営業品目】
・プラズマ応用各種製造装置
プリント基板製造：親水性改善／金メッキ前処理 デスカム／デスミア
太陽電池製造：電極形成（金属ナノ粒子プリントのプラズマ焼結）
・加熱用マイクロ波電源
セラミック：乾燥・焼結プロセス
化学合成：液体・固体 化学反応の促進 プロセス
・プラズマ用マイクロ波電源
液晶パネル／太陽電池：アッシング／エッチング・プロセス
本社／〒665-0047 兵庫県宝塚市亀井町10番7号 TEL0797-72-1903 FAX0797-73-6237
URL http://www.nissin-microwave.com

電線加工 アクセサリー
バッテリーコード 平編線 銅バー

株式会社 サンコー
〒660−0804 兵庫県尼崎市北大物町16−8 TEL:06−6482−3729 FAX:06−6482−7876
E−mail:ama_sankoo@ybb.ne.jp 担当:ホウジョウ

開発・設計から製造まで
豊富な経験と実績に基づいた技術とサービスを提供します

パイプ端面加工機
■工作機械・専用工作機械・産業機械
●MC、NC専用機 ●自動・省力化装置
●パイプ切断機、パイプ端面加工機 ●各種検査・試験装置
●製品に対するお問い合わせは下記へ
タイホー株式会社 〒660-0874 兵庫県尼崎市西本町2丁目61
E-mail：taihoeng@kb3.so-net.ne.jp TEL.06(6417)0707(代) FAX.06(6417)0750